

各位

2025年7月29日

日本老人福祉財団×聖隷福祉事業団 『第4回有料老人ホーム実践研究発表会』開催

～新しい歩み、新しい学び～

一般財団法人日本老人福祉財団（本部：東京都中央区、理事長：夏目芳宏）が運営する介護付有料老人ホーム〈ゆうゆうの里〉と社会福祉法人聖隷福祉事業団（法人本部：静岡県浜松市、理事長：青木善治）が運営する介護付有料老人ホームエデンの園は、2法人主催で『第4回有料老人ホーム実践研究発表会』を令和7年7月5日（土）に品川グランドセントラルタワー3階 THE GRAND HALLにて開催いたしました。

『第4回有料老人ホーム実践研究発表会』は、「介護部門」「事務部門」「食事部門」およびホームに併設されている「診療所」の各業務現場において課題として取り組んだ全4グループ20テーマの「研究」について発表し、審査員により「優秀賞」（2演題）と、聴講者の投票による「会場賞」（1演題）が選出されました。この実践研究発表会は、開催当初から多くの入居時自立型有料老人ホームに参加してもらうことを目指しており、今回は東京海上日動ベターライフ株式会社、株式会社マザアスの2社に参加していただきました。当日の参加者は総勢187名でした。



開会挨拶の様子（日本老人福祉財団:夏目理事長）



優秀賞・会場賞 受賞者

【優秀賞】（2演題）

- 「私」のための入浴～ハードを支えるソフトとシステム～
浦安エデンの園 ケアサービス課 平 桃子さん
- どこが住み替えのポイント？～住み替えてきた方々の軌跡をもとに見えてきたこと～
藤沢エデンの園一番館 生活サービス課 石山 隼士さん

【会場賞】（1演題）

- 情報は最強の武器である～現在も老後も幸せに生きるために～
奈良ニッセイエデンの園 運営管理課 遠藤 鮎美さん

優秀賞受賞演題概要について

- 「私」のための入浴～ハードを支えるソフトとシステム～
浦安エデンの園 ケアサービス課 平 桃子さん

概要：入浴において職員間の共通認識を持つための指標を標準化・共有し、ご入居者が「私」のための入浴と感じられるサービス提供を目的とした研究。結果として職員間の連携が深まり、ご入居者一人ひとりの希望に沿った支援が実現した。ご入居者の希望を踏まえた職員の視点や行動を標準化・共有することは、業務改善において重要である。



● どこが住み替えのポイント？～住み替えてきた方々の軌跡をもとに見えてきたこと～

藤沢エデンの園 一番館 生活サービス課 石山 隼士さん

概要 : 誰が対応しても同じ基準で住み替えの判断ができ、ご入居者本人およびご家族の安心と納得につながるような、客観的な住み替えの指標を見出すことを目的とした研究。住み替え時の書類をもとに、ADL や社会資源の利用状況を整理・分析してチェックシートを作成し、事例比較を行った。その結果、住み替えの判断においては介護度だけでは不十分であることが示された。作成したチェックシートは、施設の特徴に合った住み替えの指標として、今後の住み替え検討時に活用できる。



研究発表の講評について

● 午前の部

全国社会福祉協議会 中央福祉学院 主任教授 山下 興一郎氏

これから、“老い”というご自身との戦いを迎えるご入居者に対し、私たちはどのように伴走していくべきか。また、ICT や DX をどのように活用できるのか。今回の発表を通じて、多くの方がそのヒントを得られたのではないのでしょうか。どの発表にも様々な工夫が凝らされており、タイトルに工夫を加えることで、発表のメッセージ性がより明確に伝わり、聴衆に気づきや新たな視点を提供していました。

実践研究は、業務改善を超えて、「実践知」を蓄積し、共有していく取り組みです。この実践知が、将来にわたって価値を持ち続け、次なる研究の糧になることを期待しています。



● 午後の部

NTT データ経営研究所 米澤 麻子氏

ご入居者の生活の質向上に向けた真剣な取り組みに心を打たれるとともに、発表後の質疑応答のやり取りも、レベルの高さに深い感銘を受けました。午後の部では、ICT ツールを活用した現場での改善活動に関する発表が多くありましたが、いずれも「導入すること」が目的ではなく、「現場でどう活かすか」に重きが置かれており、多職種間の連携や対話が活発に行われていたことが印象的でした。

発表者の皆さんは最初こそ緊張されていたものの、発表を終える頃には、普段の現場で見せるようなやわらかな表情と笑顔が印象的で、その姿からも現場に対する誇りと想いが伝わってきました。



本件に関するお問い合わせ先

一般財団法人 日本老人福祉財団 本部 施設支援部 総務経理課 楠本 直登

Tel. 03-3662-3611 / Mail. kusumoto-no@yuyunosato.or.jp

<第1グループ>

| | | |
|---|---------------------------------------|-----------------------------|
| 1 | 「生活リハ」で元気度アップ ～BI 値で科学的介護を実践～ | 佐倉(ゆうゆうの里) ケアサービス課 今井 桜月 |
| 2 | 「最期までその人らしく」 ～園全体で取り組む情報共有の仕組みづくり～ | 油壺エデンの園 ケアサービス課 加藤 なつ美 |
| 3 | あなたの想いを大切にします ～リビングウィル(事前意思確認書)～ | 京都(ゆうゆうの里) ケアサービス課 土井 明彦 |
| 4 | 「私」のための入浴 ～ハードを支えるソフトとシステム～ | 浦安エデンの園 ケアサービス課 平 桃子 |
| 5 | 紙からデジタルへ ～動画マニュアルによる業務改善について～ | 横浜エデンの園 運営管理課 松崎 智幸 |

<第2グループ>

| | | |
|----|--|-----------------------------|
| 6 | 入居者との関わりの時間を増やす業務改善活動 ～職員の殻を破り、新たな関わりを～ | マザース南柏 運営課 4 階 石野 利幸 |
| 7 | やっぱりお好み焼きは鉄板や! ～個別外出企画～ | 大阪(ゆうゆうの里) 生活サービス課 門田 拓也 |
| 8 | 内服業務 IA 減少への取り組み ～マニュアルの効果的な運用と効果～ | 浜名湖エデンの園 居室サービス課 杉本 明久 |
| 9 | 「看護サマリーの見直し」 | 神戸(ゆうゆうの里) 診療所 木地 智恵美 |
| 10 | 情報は最強の武器である ～現在も老後も幸せに生きるために～ | 奈良ニッセイエデンの園 運営管理課 遠藤 鮎美 |

<第3グループ>

| | | |
|----|--|--------------------------------|
| 11 | 身体拘束解除に成功した介護施設の取り組み ～排泄予測機器「DFree」を使用した入居者の QOL の向上に向けたケア～ | 松山エデンの園 ケアサービス課 山吹 由紀子 |
| 12 | 真夜中に「おはよう」 ～そんなに視に来られたら眠れません～ | ヒルデモアたまプラーザ・ビレッジ I 金井 綾香 |
| 13 | ノーリフトケア®の定着を目指して ～介護用リフトを導入して 1 年目の取り組み～ | 浜松(ゆうゆうの里) ノーリフトケア®担当 仁多見 尚 |
| 14 | 関節拘縮の発生対策における床走行式リフトの効果 | 明日見らいふ南大沢 介護棟サービス課 牧野 宏太 |
| 15 | 職員の腰痛予防・軽減に自分の学びを活かしたい! ～腰痛予防担当者として今そしてこれからできること～ | 佐倉(ゆうゆうの里) 生活サービス課 鶴岡 真弥 |

<第4グループ>

| | | |
|----|---|------------------------------------|
| 16 | かつてない食材価格高騰に対処するため ～おいしい食事提供との両立～ | 伊豆高原(ゆうゆうの里) 食事サービス課 三浦 伊織 |
| 17 | 食堂利用者と非利用者の野菜摂取量の違い ～ベジチェックを活用した取り組み～ | 宝塚エデンの園 食事サービス課 河村 美瑚 |
| 18 | 気づきと後押しでフレイル予防 ～AI を活用した要介護予測とアドバイスの強化の試み～ | 日本老人福祉財団 本部 施設支援部 サービス推進課 中野 真子 |
| 19 | どこが住み替えのポイント? ～住み替えてきた方々の軌跡をもとに見えてきたこと～ | 藤沢エデンの園一番館 生活サービス課 石山 隼士 |
| 20 | 自分の家だと思ってもらうために ～リロケーションゲームの少ない住み替えに向けて～ | 松戸ニッセイエデンの園 一般居室サービス課 織川 咲空 |

<ご参考資料-2>

【一般財団法人 日本老人福祉財団 概要】

基本理念：～豊かな福祉社会の実現を目指して～

1. 私達は、老後の“安心”と“幸せ”を提供することにより社会へ貢献します。
2. 私達は、はたらく人達の“人間性”を大切にします。

所在地：東京都中央区日本橋堀留町 1-7-7 MID 日本橋堀留町ビル 5 階

理事長：夏目 芳宏

設立：昭和 48（1973）年 12 月

事業：介護付有料老人ホーム〈ゆうゆうの里〉を全国 7 箇所で運営
（佐倉、湯河原、伊豆高原、浜松、京都、大阪、神戸）

特徴：創立 50 周年を迎えた老舗の有料老人ホーム運営事業者。自立の時期に入居し最期まで暮らせる住まい（終の棲家）を提供。1 施設あたり平均 300 戸を超える大型施設の CCRC「高齢者コミュニティ」を展開している。

HP：<https://jscwo.jp/>

【社会福祉法人聖隷福祉事業団 概要】

基本理念：キリスト教精神に基づく「隣人愛」

所在地：静岡県浜松市中央区元城町 218 番地 26

設立：昭和 5 年（1930 年）5 月

理事長：青木 善治

事業内容：1. 医療事業（病院・診療所・ホスピスなど）

2. 保健事業（健康増進・健康診断・人間ドック・疾病予防・労働環境測定など）

3. 福祉事業（特別養護老人ホーム・障害者支援施設・救護施設・無料または低額診療・保育事業・有料老人ホーム事業など）

4. 介護事業（介護老人保健施設・通所事業・訪問看護ステーション・在宅訪問事業など）

URL：<https://www.seirei.or.jp/hq/>